

第24回横浜脳卒中・リハ連携研究会(Y-CIRCLE)

WEB開催



謹啓

時下、先生方におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
本研究会は急性期病院と回復期リハビリ病院のスタッフが一同に会し、情報を共有する場として企画し、今回第24回を迎えることとなりました。
脳卒中を起こした患者さんの急性期を脱した後の流れに関して、更なる検討が必要であると考えられます。皆様の奮ってのご参加を、よろしくお願ひ申し上げます。

記

謹白

日時：2021年6月23日(水)18:30～20:00

URL: ●●●●



◇18:30 開会の辞

国立病院機構 横浜医療センター 脳神経内科 部長 高橋 竜哉 先生

第1部(18:35-19:15)

座長:横浜市立みなの赤十字病院 神経内科 部長 大久保 卓哉 先生

◇18:35～18:55 研究報告 (ご発表 7分×2、質疑 6分)

急性期病院のコロナ対策: 横浜医療センター

回復期病院のコロナ対策: 平成横浜病院

◇18:55～19:15 医療連携報告 (ご発表 7分×2、質疑 6分)

急性期施設: 横浜市立みなの赤十字病院

回復期施設: 西横浜国際総合病院

第2部(19:15-19:55)

座長: 戸塚共立リハビリテーション病院 鈴木佳宣 先生

◇19:15～ 特別講演

『CAS(cancer associated stroke)の臨床像、病態、そしてマネジメント』

演者: 訪問診療ネットワーク 群雄会 理事長

伊勢崎クリニック 院長

神澤孝夫 先生

◇19:55 閉会の辞

みどり野リハビリテーション病院 大山治 先生

がん、脳卒中、心疾患を同時に合併する方は高齢化社会では珍しくありません。多くの科にわたる疾患を、専門性を追求しながらも、診療科の垣根を超えて連携し、マネジメントしていくことが重要です。

CAS(cancer associated stroke)の臨床像、 病態、そしてマネジメント

Clinical feature and management of CAS (cancer associated stroke)

○神澤孝夫^{1,4)}、植杉 剛¹⁾、佐藤 麻美²⁾、小林 真理子²⁾、
美原盤³⁾

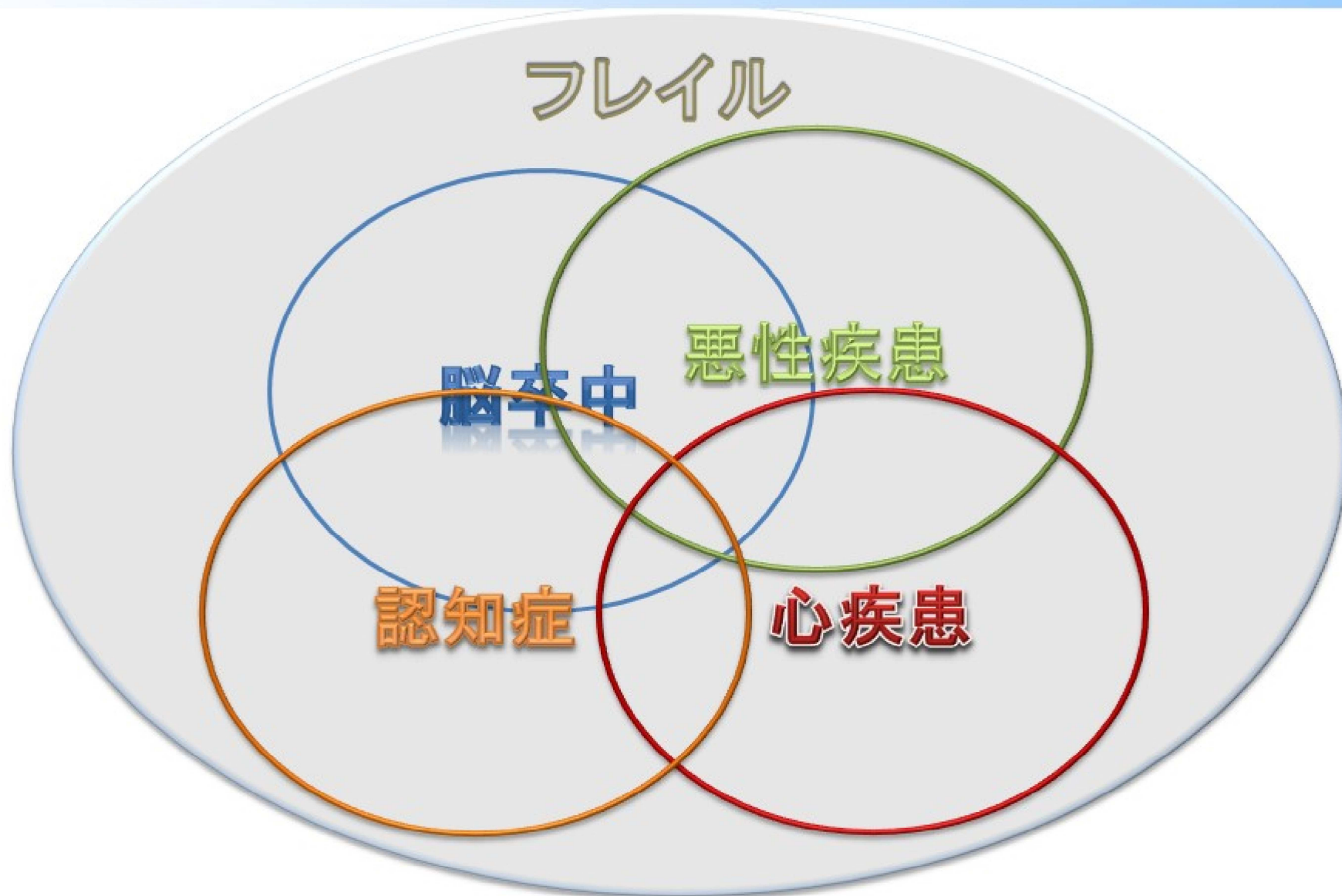
1)公益財団法人脳血管研究所附属美原記念病院 脳卒中部門

2)医療情報管理部

3)神経内科

4)医療法人社団 群雄会 伊勢崎クリニック

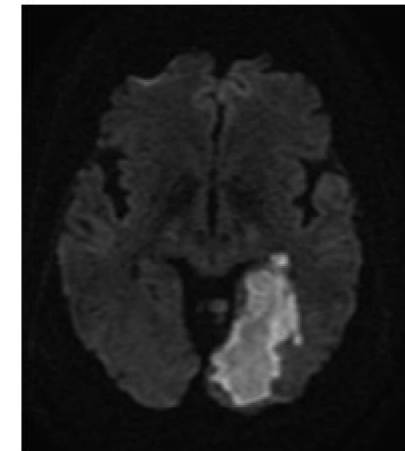
人口の高齢化と複雑性



スライドは私見的考察

Baseline Characteristics of stroke patients treated with Xa inhibitor

| | |
|--------------------|---------------------|
| Patients. | 52 |
| %Male | 67.7% |
| CHADS ₂ | 3.0±1.4 |
| HAS-BLED | 3.5±1.3 |
| Boby Weight | 54.7±12.1 |
| CCr | 55.3±21.0 |
| Hb (g/dl) | 11.1±2.3 |
| Alb(g/dl) | 4.0±0.68 |
| APTT | 32.4±7.1 |
| INR | 1.1±0.35 |
| D-dimmer | 3.5±3.3 (トルソー症候群除く) |



BW loss • Anemia